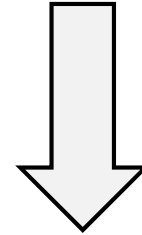


# 概算事業費及び事業スキーム について

# 今後の検討スケジュール(案)

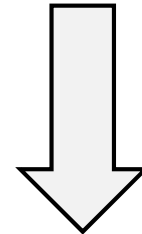
平成29年11月1日  
(第一回)

地下化に向けた課題検討状況



平成30年5月22日  
(第二回)

対象区間及び地下ルート(案)



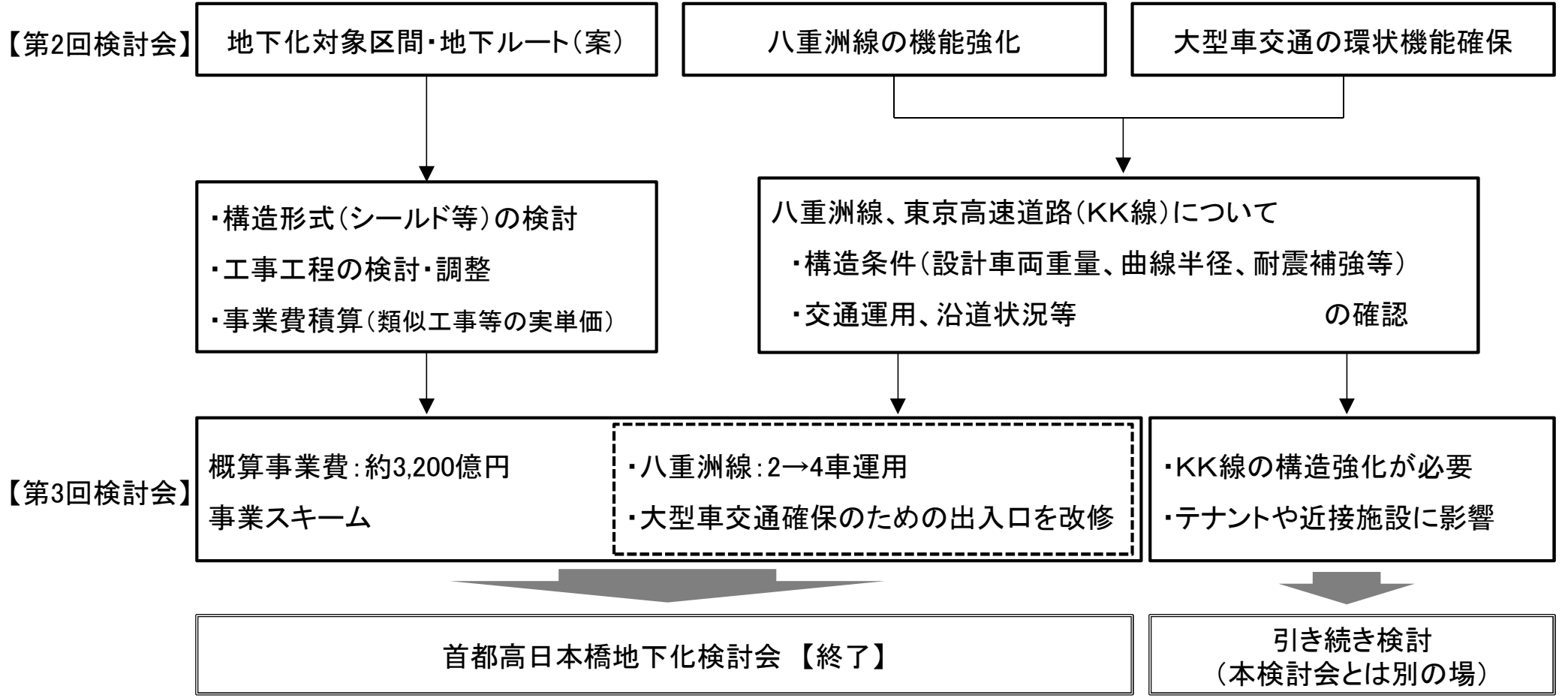
平成30年7月18日  
(第三回)

概算事業費・事業スキーム

※要検討事項

- ・八重洲線の機能の強化
- ・大型車交通のネットワーク機能の確保

# 日本橋上空の首都高地下化 検討のプロセス



## 【首都高日本橋地下化】

関係機関と調整の継続

都市計画変更手続き

事業認可、有料事業許可手続

## 【今後の予定】

## 【大型車交通】

大型車の環状機能確保については、関連施設の影響も考慮し、

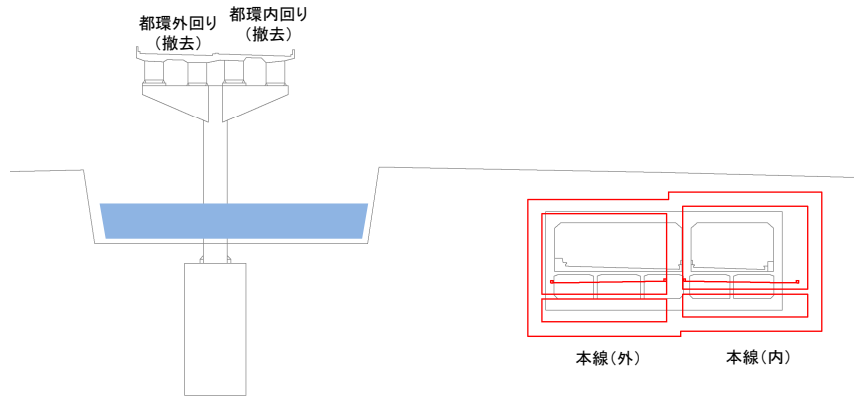
- KK線の構造強化
- 別線による機能確保

の両面で別途検討を実施

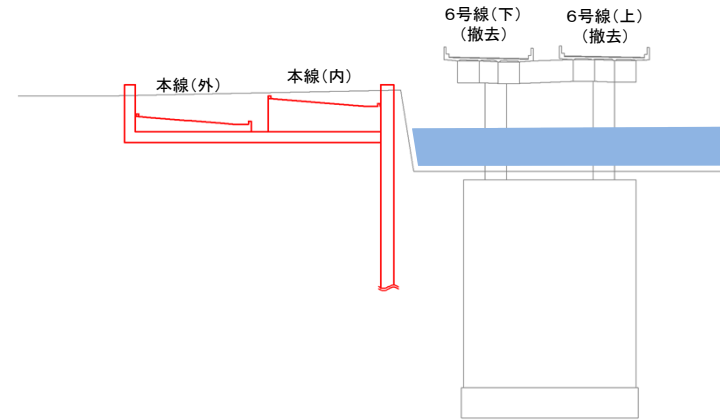


# 首都高日本橋地下化の計画(主要な断面)

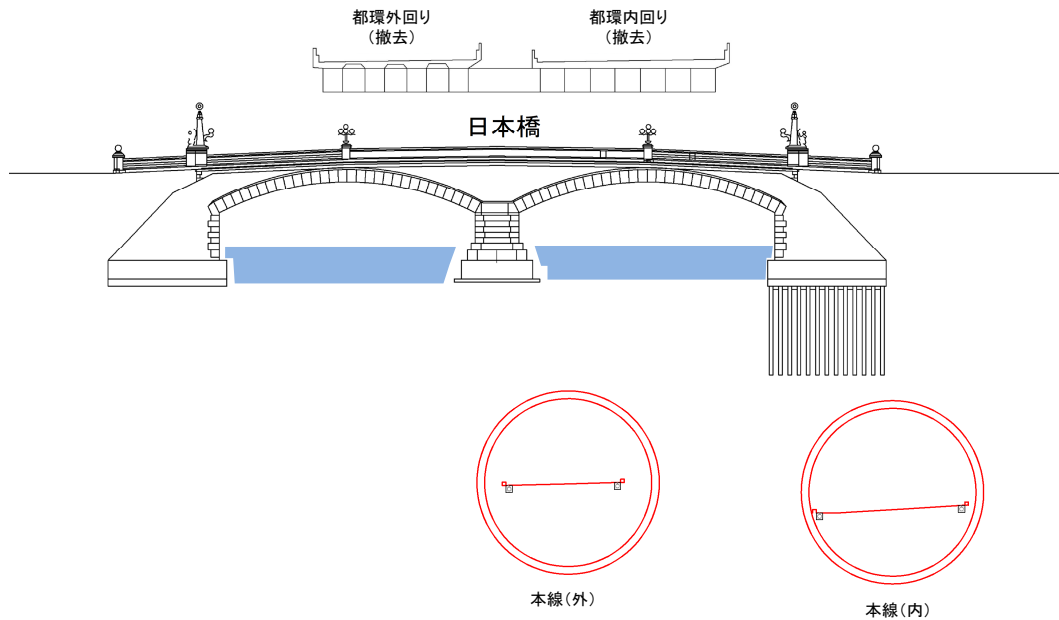
## ① 断面(開削部)



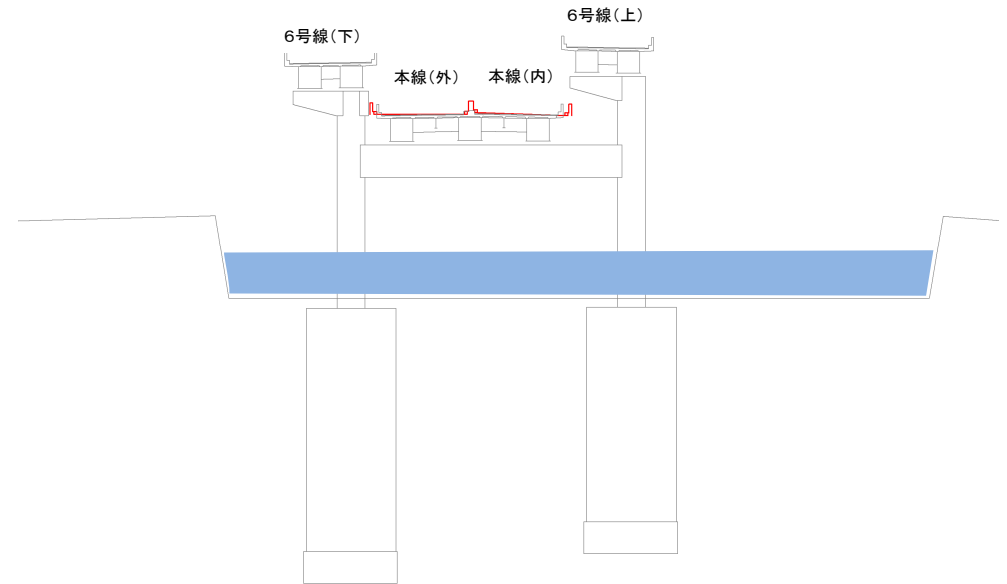
## ③ 断面(擁壁部)



## ② 断面(シールド部)

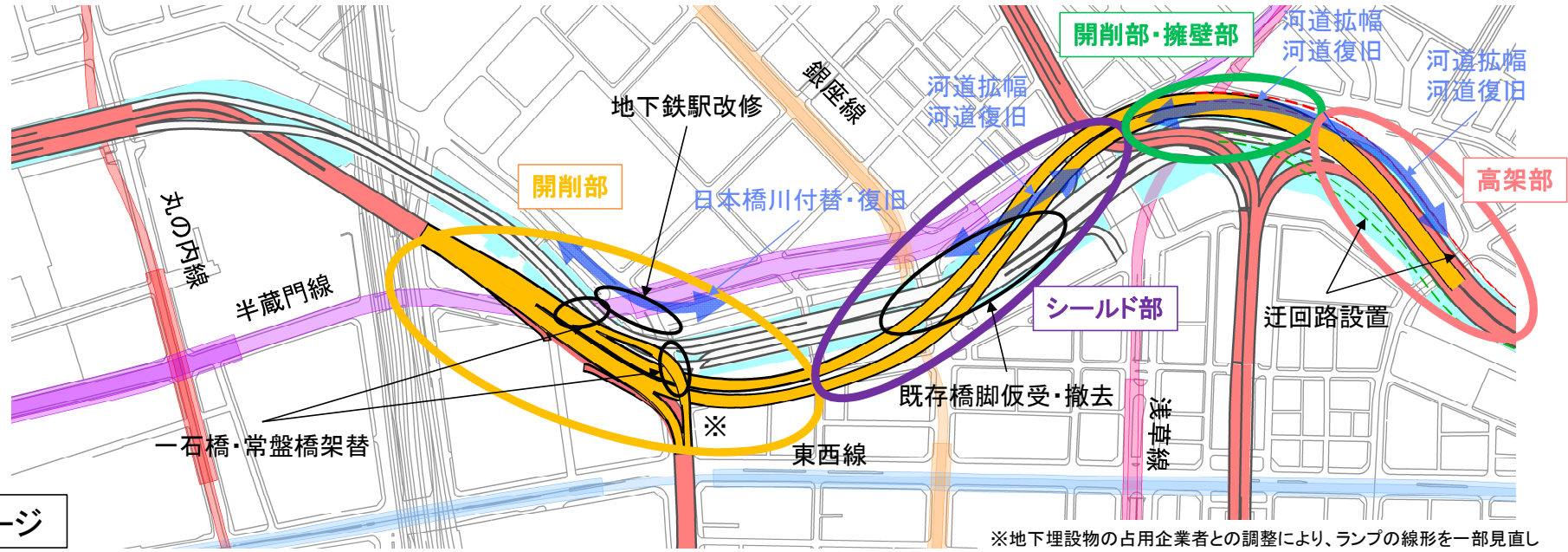


## ④ 断面(高架部)

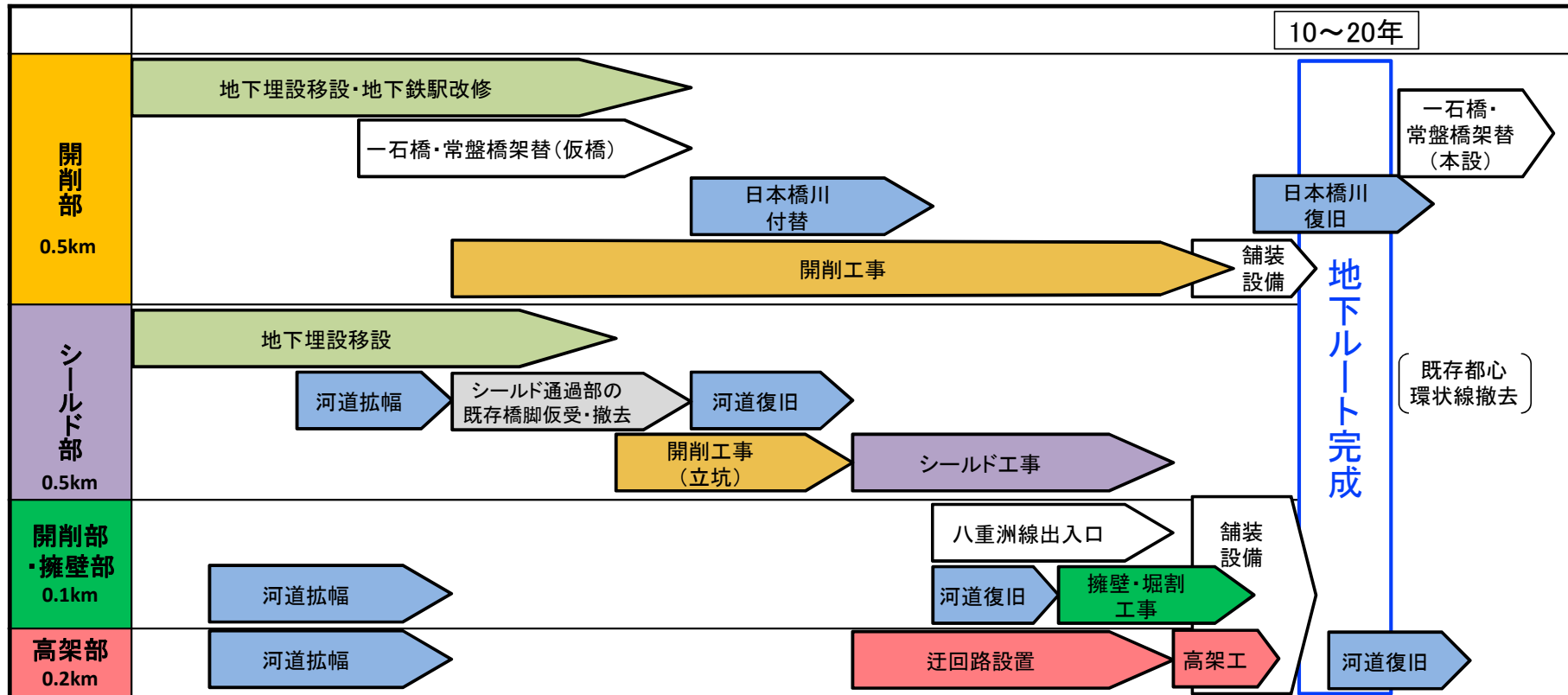


# 首都高日本橋区間 地下化の工事工程イメージ

平面図



工程イメージ



# 首都高日本橋区間の地下化の事業スキーム(案) 〈基本的な考え方〉

約3,200億	約400億
	約400億
	約400億
	約1,000億
約1,000億	

## 首都高

コスト縮減などの努力

## 民間プロジェクト(公共貢献)

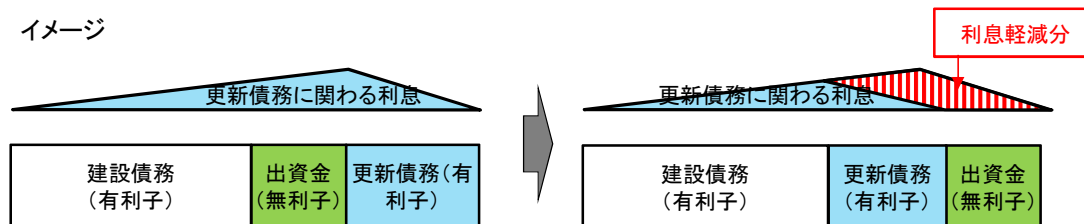
首都高地下化と地元のまちづくり(プロジェクト)との連携

## 地方自治体

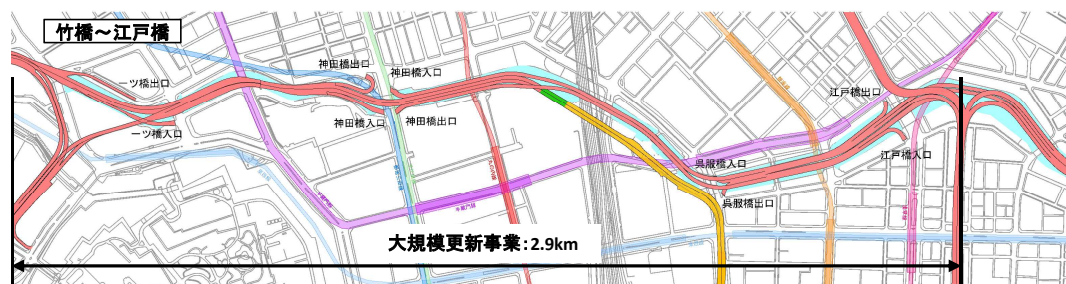
関連公共事業(交付金対象)及び公共用地の活用

## 国・地方自治体の出資金制度 (償還時期を見直し)

イメージ



## 大規模更新費の一部



概算事業費

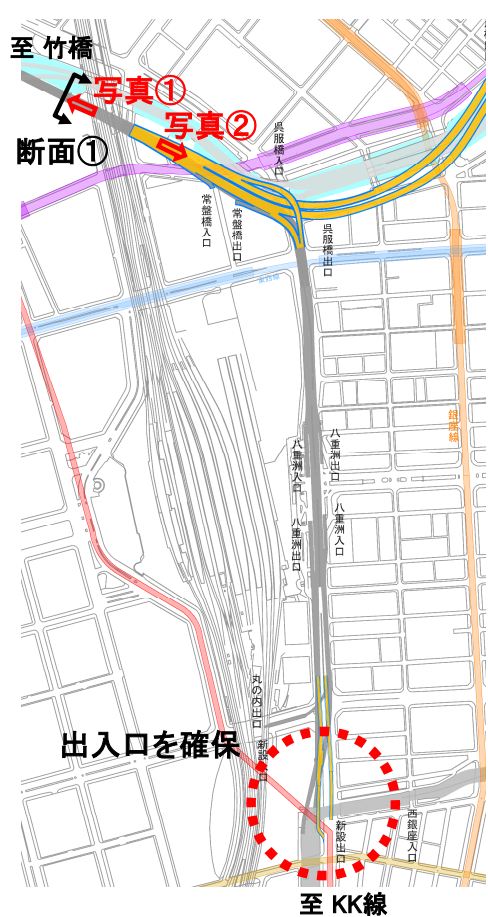
事業スキーム



まちづくりの進捗や首都高地下化の工事工程に合わせ、関係者が協力し、上記を負担

# 八重洲線の機能強化

- 八重洲線は東京高速道路(KK線)が大型車走行不可のため、大型車規制を実施。
- 構造上4車線運用が可能であり、今後、関係者と調整。併せて、出入口を確保し、大型車の通行を可能とする。



写真①



写真②  
八重洲線(トンネル内)



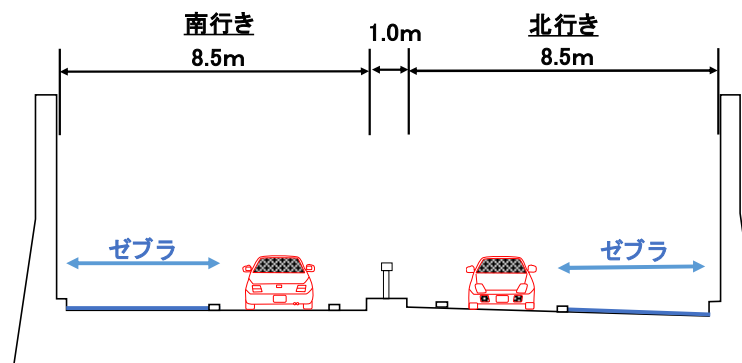
八重洲線は、現在、大型車規制を実施  
⇒八重洲線自体は、道路構造令上※、  
大型車の通行は可能

※設計車両重量最大25t、建築限界高さ4.5mなど基準を満足

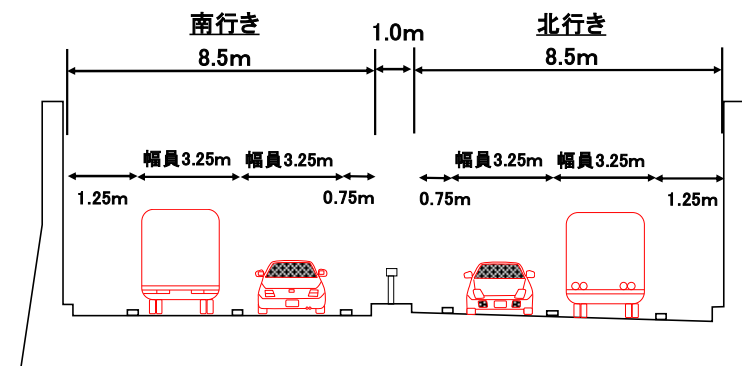
## 機能強化案

断面①

現在の運用(片側1車線)



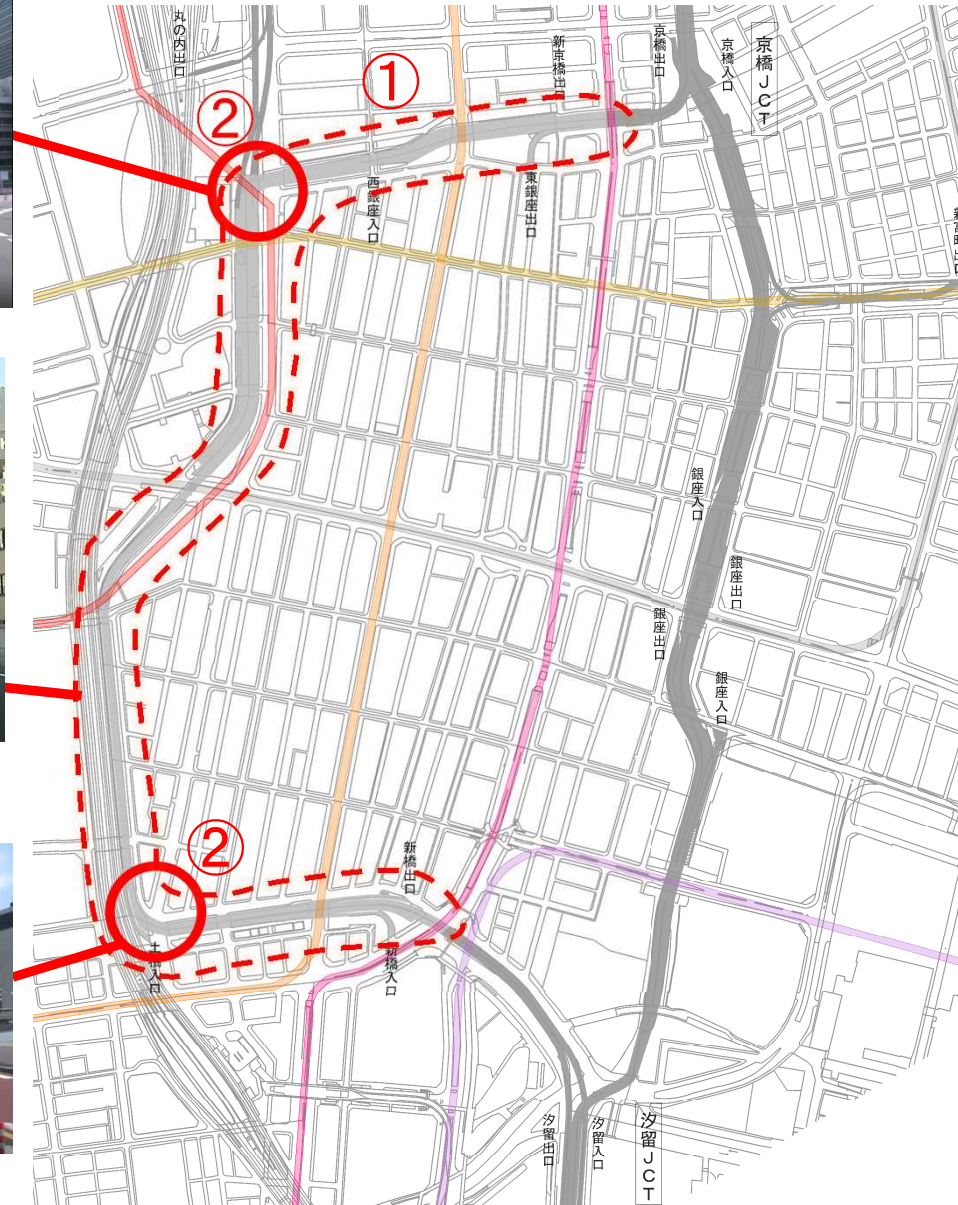
機能強化後の運用(片側2車線)





# 東京高速道路(KK線)の状況

○ 東京高速道路(KK線)は、大型車の通行を可能とするには、耐荷重やカーブ区間の幅員が不足。



現在、東京高速道路は大型車が通行禁止

① 全線において、大型車が通行する上での耐荷重が不足

<設計車両重量>

KK線\* : 道路構造令  
20t : 最大25t

② 2箇所において、大型車が曲がれない区間がある

- 大型車が走行するための曲線部の拡幅量が不足

<曲線部拡幅>

KK線\* : 道路構造令  
約1m : 約2m

\*道路運送法(一般自動車道 構造設備規則)に準拠

# 大型車交通の環状機能の確保策について

- 東京高速道路(KK線)において、大型車の通行を確保するためには、耐荷重の確保や耐震補強など構造強化が必要。  
⇒ 大型車の環状機能確保について、KK線の構造強化と、別線による機能確保の両面で別途検討。

KK線の断面図(現況)

※東京高速道路(KK線)関係資料より

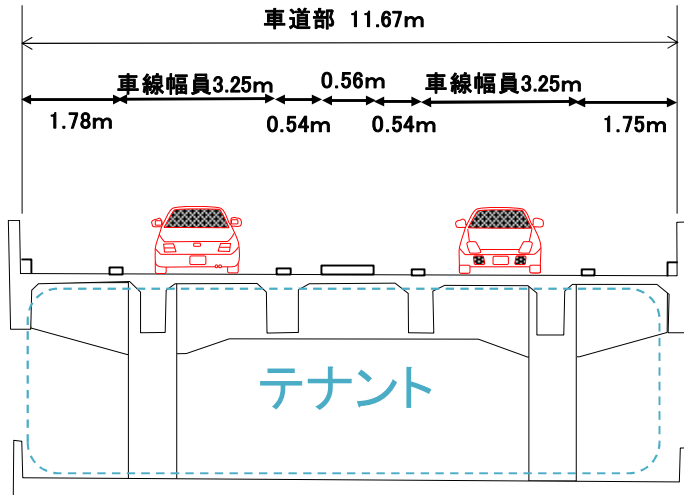


写真 ビルとの近接状況



<今後の検討>

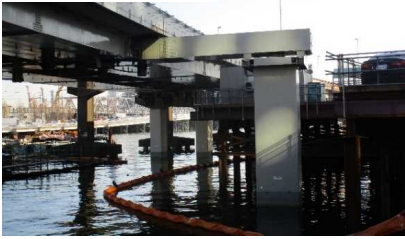





大型車交通の環状機能確保については、

- KK線の構造強化
  - 別線による機能確保
- の両面で別途検討を実施

# 首都高日本橋区間の地下化概算事業費 内訳

参考1

	項目	算出根拠	類似工事	金額(億円) (税込)
用地・補償費	用地	平成29年度路線価より地区別単価を算出	仮受橋脚(イメージ) 	400
	建物補償	「建築コスト情報*」より単位床面積当たりの建築コスト実績値を算出 *平成29年7月 建設物価調査会		310
	機能補償	地下埋移設、 仮受橋脚、迂回路設置【小松川JCT等上下部工】		400
関連工	河川関連	日本橋川付替、護岸改良、河道拡幅【石神井川付替工事】、 地下鉄駅改修(類似工事より算出)、 一石橋・常盤橋架替	河川付替工(石神井川) 	370
	近接構造物防護工	日本橋基礎補強、既設鉄道構造物【環状2号線トンネル工事】		150
本体工	開削工	実績単価積み上げ	シールド工(品川線大橋JCT) 	400
	シールド工	施工規模(延長約900m)類似工事 【品川線大橋連結路シールドトンネル工事】		280
	擁壁・掘割工	実績単価積み上げ		20
	高架工	上部工【新宿線大橋JCT上部工】、下部工【小松川JCT下部工】		70
	設備工	換気設備、防災施設等【新宿線設備工】、 舗装工(実績単価積み上げ)【横浜北線舗装工】		260
撤去工		既存都環(上部工)、迂回路撤去(上部工撤去【既存八重洲線上部撤去工】、 下部工撤去【大師橋更新工事】)、 既存八重洲線(一部)撤去(実績単価積み上げ)【土木施工単価等より算出】		470
	八重洲線出入口	実績単価積み上げ		70

【 】:首都高類似工事実績

合計 3,200